○馬場目川水系：概ね5年で実施する取組

③次期概ね5年の取組方針（案）

資料－8

雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会　馬場目川水系の減災に係わる取組方針					目標時期	秋田市：雄物川水系取組による							
具体的取組		課題の対応	実施する施策	検討すべき事項	概ね5年	秋田県	男鹿市	潟上市	三種町	五城目町	八郎潟町	井川町	大潟村
1）ハード対策の主な取組					◎：実施中　○：今後実施、検討　×：実施困難　グレー着色：対								
■洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策													
ハード1	＜馬場目川水系＞ 外水、内水氾濫の防止 治水機能の強化、維持	28	堤防整備		継続実施								
			河道掘削の推進		継続実施								
			ダム等既存貯留施設の有効活用の促進		継続実施								
			馬場目川水系水災害対策プロジェクトの推進		継続実施								
			樹木伐採		継続実施								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備													
ハード2	河川や浸水状況の監視強化	19,21	河川や水位、浸水状況の監視強化	危機管理型水位計の設置（見直しを含む）	継続実施								
				河川監視用カメラの設置（見直し及び夜間の視認性を含む）	継続実施								
				浸水状況の把握（ワンコイン浸水センサ等の検討）	継続実施								
				ドローンを活用した河川巡視、被災箇所の早期把握	継続実施								
ハード3	排水活動に資する基盤等の強化	28	排水設備や体制の充実化	排水ポンプ車等の導入	継続実施								
			樋門・樋管等の施設の運用体制の高度化・省力化	樋門・樋管の無動力化・遠隔操作化の推進	継続実施								
ハード4	庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）	4,10,14 26,27	隣接市町村における避難場所の設定（広域避難体制の構築）	避難場所・避難経路の整備及び広域避難体制の構築	継続実施								
2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導・・・【動かす】													
■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組													
動かす1	タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施・タイムラインの検証及び改訂・多機関連携型タイムラインの拡充	2,6,7	洪水時における河川管理者から民間企業間の情報提供等（ホットラインの構築）	連絡体制の確認及びタイムラインの検証及び改訂	継続実施								
		8,9,10	避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認（タイムライン）	水害対応タイムラインの確認・見直し及び洪水対応訓練・避難訓練等の実施	継続実施								
			多機関連携型タイムラインの拡充	連携機関	必要に応じて検討								
動かす2	水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	6,9,10,14	避難訓練への地域住民の参加促進	住民参加型の避難訓練	継続実施								
		15,21,22,25	共助の仕組みの強化	自主防災組織、福祉関係者、水防団、水防協力団体等による避難誘導を含む訓練、夜間避難を想定した訓練の実施	継続実施								
				地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット設置	継続実施								
動かす3	水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施	6,9,10,14 15,21,22,25	防災教育の促進	指導計画等の作成	継続実施								
動かす4	要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施	18	要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	講習会プロジェクトの取組	継続実施								
動かす5	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	18	要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	避難確保計画の作成及び進捗状況の確認	継続実施								
				避難訓練の実施及び進捗状況の確認	継続実施								
動かす6	適切な避難行動のための地域住民への啓発の充実	6,13,15 16,17,20	地域住民の自助共助意識の醸成	防災展の実施、防災講話等啓発活動の実施、マスコミとの連携	R8年度から順次実施								
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組													
動かす7	住民の避難行動に着目した各市町村のタイムラインの運用及びマイタイムラインの周知及び作成支援	2,6,8 9,10	住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	マイタイムラインの周知及び作成支援	継続実施								
動かす8	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 ・適切な土地利用の促進	1,2	浸水実績等の周知	水位周知河川以外の水害危険性、浸水実績の把握と周知	継続実施								
		5,10	適切な土地利用の促進	市町村のまちづくり担当部局等との情報の共有	継続実施								
動かす9	住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（メール、ラジオ、WEB・アプリ、SNS等）	3,12,13	ICT等を活用した洪水情報の提供	メディア連携施策のフォローアップの実施、ハッシュタグを活用した被災状況に関する情報収集	継続実施								
動かす10	想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進	1,2	ハザードマップの改良、周知、活用	想定最大規模に対応したハザードマップの作成	継続実施								
		5,10	災害リスクの現地表示	まるごとまちごとハザードマップの推進	継続実施								
動かす11	住民の避難情報に関する意識調査などを実施し、取組方針へ反映	12,13	—	—	継続実施								
動かす12	避難所機能の早期立ち上げ・充実化	11	避難所の早期立ち上げのための体制強化	地域住民・団体と連携した避難所立ち上げ・運営	R8年度から順次実施								
			避難所機能の充実化	避難所設備の質を高めるトイレカー等の導入	R8年度から順次実施								
2）ソフト対策の主な取組　②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化・・・【ねばる】													
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組													
ねばる1	流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備	24,25	水防に関する広報の充実（水防団員確保に係る取組）	水防功労者大臣表彰・水防月間・水防団員募集をPRしたポスター、リーフレットの作成配布、「水防団応援の店」制度の検討	継続実施								
				水防ポータルの運用	継続実施								
			災害情報の地方公共団体との共有体制強化	DiMAPSの利用促進	必要に応じて検討								
ねばる2	関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施	24,25	水防関係者間での連携、協力に関する検討	水防団と自主防災組織の意見交換、合同訓練等の充実	継続実施								
ねばる3	重要水防箇所の合同巡視、水防資機材の保有状況	21,22	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	重要水防箇所や水防資機材の共同確認	継続実施								
■既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組													
ねばる4	既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備 「既存ダム→ため池施設を含む」	28	ダム等の洪水調節機能の向上・確保	「ダムの柔軟な運用」（事前放流の検討）	継続実施								
2）ソフト対策の主な取組　③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動・・・【戻す】													
■排水活動及び訓練、施設運用に関する取組													
戻す1	排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成	22,23,25,26	排水施設、排水資機材の運用方法の改善	排水作業準備計画の作成	継続実施								
戻す2	関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施	25	—	—	継続実施								